

# 1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

## 地区特性

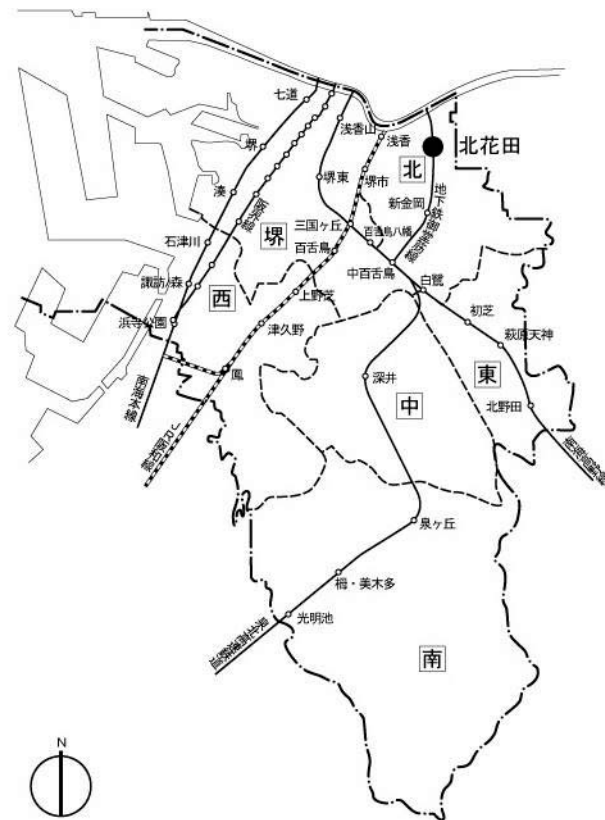
### 【データ】

- ① 1日平均乗降者数……………15,375人/日（実績）
  - ② 高齢者利用者数……………2,306人/日（推定）
  - 身体障害者利用者数……………523人/日（推定）
- 注）高齢者利用者数 = 1日平均乗降者数（①）×市平均高齢者率  
 身体障害者利用者数 = 1日平均乗降者数（①）×市平均身体障害者率

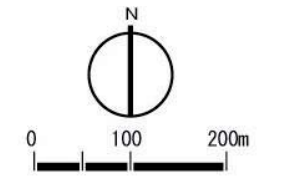
### ③ 交通広場概要

- ・面積……………3,200㎡（計画）
- バスバース数……………2（計画）
- タクシーバース数……………2（計画）

### 【位置図】



## 用途地域図



第一種低層住居専用地域
第二種低層住居専用地域
第一種中高層住居専用地域
第二種中高層住居専用地域
第一種住居地域
第二種住居地域
準住居地域
近隣商業地域
商業地域
準工業地域
工業地域
工業専用地域

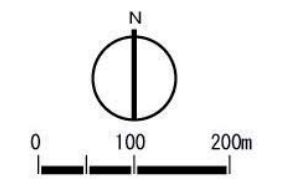
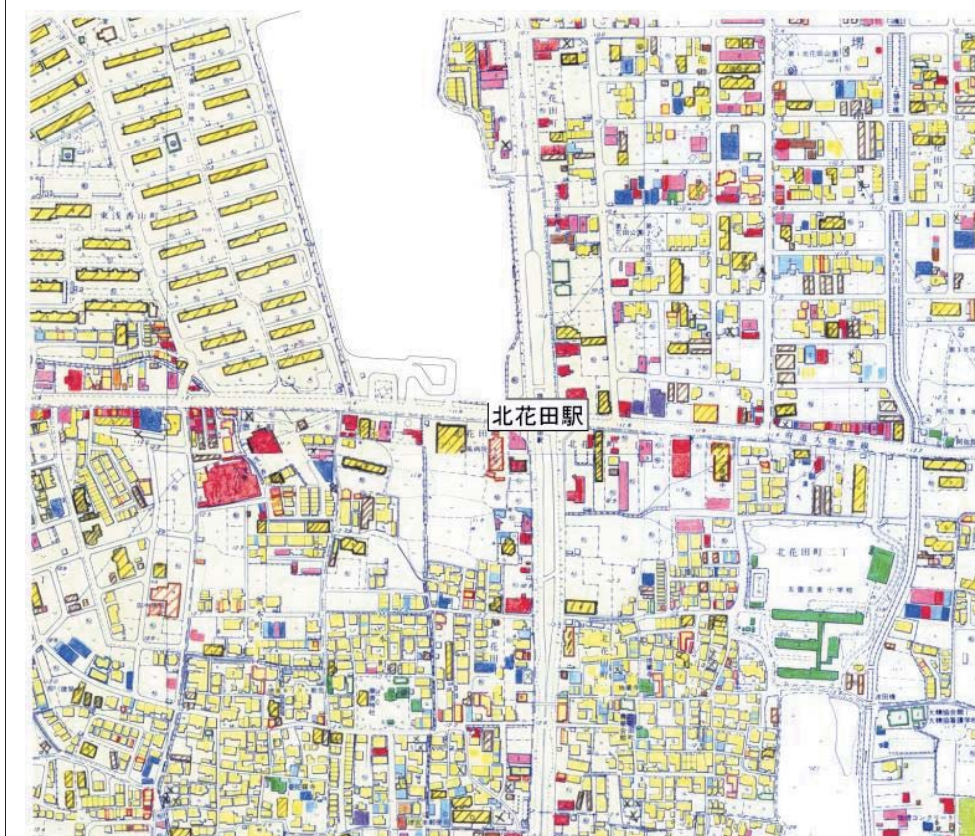
### 【地区特性】

- ・本地区は、堺市の北東端に位置し、6つの支所区域のうち「北地域」に含まれる。
- ・本地区は、主に住宅地であるが、駅の北西角に大規模商業施設が建設中である。

### 【交通バリアフリー化からみた主な課題】

- 鉄道駅
  - ・大規模な商業施設整備に伴う駅構外のエレベーター整備などバリアフリー化の施設整備が必要である。
- 道路
  - ・幹線道路における歩道整備が行われているが、一部の区間で歩道の舗装・段差・勾配の改良が課題である。
  - ・駅出入口付近における放置自転車、駐車車両の削減等による歩行空間の確保が必要である。
- 信号・交差点
  - ・特定経路等における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全確保の検討が必要である。

## 建物用途現況



### 主な凡例

官公署施設
運輸施設
文教施設
医療厚生施設
販売商業施設
業務施設
工業施設
住居施設